

おかやまけんしゃがいふくし 岡山県社会福祉



弓道



サッカー



卓球



水泳



結団壮行式 選手代表謝辞



第36回全国健康福祉祭とっとり大会 マラソン
「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」



ターゲット・パードゴルフ



ソフトボール



将棋

特集 special feature

第36回全国健康福祉祭とっとり大会
「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」
【会期】令和6年10月19日（土）～22日（火）

CONTENTS

県内地域福祉活動の取組レポート	4
県社協ニュース	6
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12



社会福祉法人
岡山県社会福祉協議会
URL: <https://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook @fukushiokayama
Instagram @okayamakenshakyo



第36回全国健康福祉祭とつとり大会 「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」

【会期】令和6年10月19日(土)～22日(火)

全国の60歳以上の選手を対象としたスポーツと文化の祭典「ねんりんピック」が鳥取県にて開催されました。ねんりんピックは高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的に、毎年開催されています。

本会では、県内の関係競技団体から推薦いただいた選手を派遣しています。

総合開会式はあいにくの雨で縮小開催となりましたが、翌日からの交流大会は天候にも恵まれ、19市町村の会場で熱戦が繰り広げられました。

初採用となる「バウンスポール」、「eスポーツ」を含めた29種目の交流大会が開催され、岡山県からは23種目、総勢156名が参加しました。



10月18日(金)

結団壮行式

【会場】岡山駅南地下通路広場

壮行式では、岡山県旗が授与され、選手を代表してバウンスポールの向井彰さんが「県代表としての自覚と自信を持って精一杯頑張ってください」と謝辞を述べました。



岡山県旗の授与



壮行式が終了後、バスにて鳥取県三朝町の前泊宿舎に移動しました。

10月19日(土)

総合開会式

【会場】鳥取県民体育館

選手団全員が参加を予定していた総合開会式は、雨天により規模を縮小して開催され、代表して2種目の選手が式典に参加しました。

式典に参加したゲートボールチームとボウリングチーム



久徳大輔岡山県議会議長が激励に駆けつけてくださいました。



前泊宿舎では食事や温泉を楽しみ、翌日の総合開会式に備えました。

10月20日(日)～22日(火)

交流大会

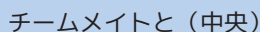
【会場】鳥取県内19市町村

各会場では、日頃の活動の成果を発揮するとともに、全国から集まった選手と交流を深めました。



向井彰さん（77歳）

総合開会式は規模を縮小して開催され、旗手の私の出番がなくなり残念でしたが、結団壮行式では、選手代表で謝辞を述べさせていただき、光栄でした。



交流大会は予選敗退でしたが、岡山県の代表の方々や他県の選手、大会に関わる多くの人達と交流し、楽しい時間が過ごせたことを嬉しく思います。また参加したいです。

土井美智江さん（81歳）

【25 m・50 m バタフライ出場】



金メダルを2つ獲得でき、とても嬉しいです。

初めての参加は第19回静岡大会でした。2年前の神奈川大会からは3年連続で参加しております。

ねんりんピックは、県選手団としてチームで行動するので、交通機関や宿の手配の心配もなく、何かと心強いのが魅力です。

水泳の今大会の最高齢は96歳の女性で、素晴らしい泳ぎや立ち振る舞いを拝見し、私もそうなりたいたいなと思いました。

できるだけ長く水泳を続け、今後
も大会に参加したいです。

次回大会

第37回全国健康福祉祭ぎふ大会

「ねんりんピク岐阜2025」

【会期】令和7年10月18日～21日

これまでの大会の模様は左記サイ
トにてご覧いただけます。

【動画配信視聴サイト】

<https://www.nenrpic.com/>



岡山県選手団の過去の参加状況や成績は、本会ホームページ「高齢者の健康・生きがいづくり／ねんりんピック」をご覧ください。

◆お問い合わせ先

地域福祉部

長寿社会推進センター

086122612835

岡山県選手団の上位入賞種目

●団体

種目	チーム名	成績
卓球	ももっち	優秀賞 (順位：第 3 位グループにて準優勝)
ソフトボール	烏城クラブ	優秀賞 (順位：ベスト 1 6)
弓道	岡山県	優秀賞 (順位：ベスト 8)
サッカー	シニア岡山 F C	準優勝 (区分：Oブロック)

●個人

種目	選手名	成績
マラソン	河井 凡	第2位 (区分: 5 k m 70 歳以上男性)
	高島 完二	第6位 (区分: 10 k m 70 歳以上男性)
水泳	岡本 栄二	第3位 (区分: 25 m背泳ぎ 65 ~ 69 歳男性)
	土井 美智江	第1位 (区分: 50 mバタフライ 80 ~ 84 歳女性)
		第1位 (区分: 25 mバタフライ 80 ~ 84 歳女性)
	守屋 智子	第3位 (区分: 50 m背泳ぎ 65 ~ 69 歳女性)
ターゲット・バードゴルフ	道廣 幸子	第6位 (区分: 女子ブロック)
将棋	佐藤 敏則	第3位 (区分: 新甘泉組)

※上位入賞種目の写真を表紙に掲載



左から2人目：青木潤一代表

(取材者) 美作大学生活科学部
社会福祉学科3年(左から)
敷木 麗菜さん、豊田 奈々美さん
花谷 綾音さん

今年度は県内で福祉を学ぶ現役大学生が取材・レポートします!

県内地域福祉活動の取組レポート

ソーシャル

アニマル

ボンド

Social Animal Bond



「学校に犬がいればいいのに…」一人の不登校児童の言葉をきっかけに始まった動物介在教育。代表で元教員の青木さんは、この取組を全国に広めるため、西粟倉村に移住し、2021年度にSocial Animal Bondを立ち上げました。

学校教育現場では、環境に馴染めない、居場所がない、いじめを打ち明けられないなどにより、子どもたちの不登校や、自己肯定感の低下が顕在化しています。教員も、子どもたちとしっかり向き合う時間を確保することが難しいのが現状です。そうした中、子どもたちを教室で待つのは「スクールドッグ」。学びの場に犬が介在し、子どもたちの心に寄り添います。今回は、子どもたちが安心して居場所づくりに向けて取り組んでいる、Social Animal Bond「代表の青木潤一さんに、スクールドッグの魅力や、活動に対する思いを伺いました。」

スクールドッグって??

犬種は決まっていますか?

定義はしていません。今は人との相性が良いとされているラブラドルレトリバーやゴールデンレトリバーで活動しています。

ウサギや鳥などで活動するのとは何が違いますか?

犬と人間は、互いにオキシトシンという幸せホルモンが分泌されることが証明されています。ウサギや鳥などにはない特徴です。

子犬の時から訓練してスクールドッグになるんですか?

盲導犬のキャリアチェンジ犬(訓練を受けたが不採用だった犬)を採用

用しているため、スクールドッグ専用の訓練はありません。盲導犬にはなれなかったけど、しつけはしっかりできているし、人に寄り添える穏やかな素質を持った犬です。

*AAE(動物介在教育)で大切にしていることや意識していることはありますか?

『これが正解』と決めずに、子どもたちが主役でいられるよう、サポート役、見守り役に徹しています。



スクールドッグのスーちゃん

ここが気になる!

子どもでもしつけはできますか?

もちろんできます。犬と関わる上でのルールを伝える時間を設けて、犬の気持ちを考えて接するよう促します。子どもが優しく接すれば犬は応えてくれるので、お座りやジャンプなど、色んなことを覚えてくれます。

学校の先生の負担が増えてしまいませんか?

準備も片付けも見守りも、全部

教えて青木さん!

活動を始めたきっかけは?

以前教師をしていたとき、クラスに不登校の子がいました。積極的に関わるうちに、その子は一度学校に復帰できたものの、卒業後の進学先でまた不登校になりました。

子どもたちの心に寄り添うには、人の力だけではダメだと思った瞬間でした。そこで、AAE(動物介在教育)に目をつけました。海外では進んでいる教育なので、日本版を作ることになりました。

なぜ西粟倉村に移住を?

全国から移住者が集まり、起業しやすい雰囲気があったことがきっかけです。実は西粟倉村は、人口の2割弱(200人ほど)が移住者なんです。

生徒の居場所とは、具体的にどのような場所ですか?

答えはないです。子どもの中には犬ではなく人と話したいという理由でスクールドッグを利用する子もいます。子どもにとっての居場所は様々です。

だからこそ、スクールドッグという名前も意図的に言っています。以前はセラピードッグという名前で活動していたんですが、ある子から「悩みがある子しか来ちゃダメなの?」と言われたことをきっかけにスクールドッグと言うようになりました。

スクールドッグにすることで、子どもたちが「犬に会いに行ってくる」という理由で気軽に参加できるようにしたかったんです。

犬の魅力とは？

人を見かけで判断しないところですね。犬は関わられ方によって態度を変えることはありますが、第一印象で態度を変えることはありません。どんな子でも関わりを持てるのが犬の魅力です。

やりがいを感じる瞬間は？

子どもが犬と二人きりで過ごせるようになったときですね。最初は犬を怖がっていた子が、サポートを受けながら少しずつ触れ合いを重ねることで、僕がその場を離れても平気になるんです。子どもの成長が感じられ、とてもやりがいがあります。

今後の課題は？

現在は私立学校での活動がほとんどです。公立学校においても「まずは取り組みよう！」となれば嬉しいですね。

今後の展望は？

AAEはあくまで「動物」介在教育であり、犬にこだわる必要はありません。今後は犬だけでなく、様々な生き物によるAAEがあってもおかしくないと考えています。

千秋の声

自分が来ると、スーちゃん(犬)

が穏やかになるのが嬉しい。来て良かったなあって思う。スーちゃんを落ち着かせるのが自分の最高の役割！

取材を終えて

今回の取材を通してスクールドッグのあり方について学べてとても勉強になりました。公立の学校での「みんな平等」という固定概念などから教育と福祉の壁を実感しました。(敷木)

スクールドッグという活動を今回の取材で初めて知りましたが、参加している子どもたちがみんな笑顔で、居場所づくりの大切さを感じることができました。まだまだ知られていない活動かもしれないが、スクールドッグが身近な存在として世の中に浸透していけばいいなと思っています。(豊田)

動物を撫でているときの胸がじんわりと温かくなる感覚が大好きです。今後、スクールドッグが教育現場にいたることが当たり前になり、多くの子どもたちの心が温かく包まれていてほしいと思います。(花倉)

お問い合わせ先

Social Animal Bond

〒707-0500

英田郡西栗倉村大茅873

<https://www.social-animal-bond.jp>

☎ : 0898-7513453

✉ : info@social-animal-bond.jp

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり）

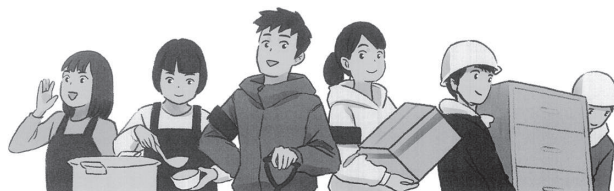
団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術	入院中の手術	65,000円	
	保険金	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	特定感染症		補償開始日から補償(*)	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

*特定感染症についても10日間の免責期間がなく、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

重層的支援体制整備事業に係る後方支援の取組について

～地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築に向けて～

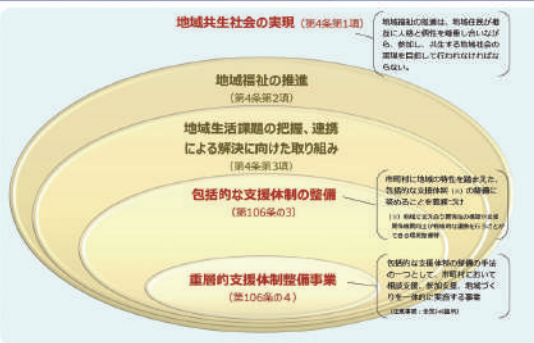


重層事業とは

少子高齢化の進展、人口減少や地

本会では、重層的支援体制整備事業（以下、「重層事業」）に係る後方支援事業を、令和5年度より岡山県から受託し、研修会やネットワーク会議の開催、アドバイザーの派遣等を通して、市町村における重層事業の推進や包括的な支援体制の構築を進めています。平成29年の改正社会福祉法で、地域福祉推進の理念が明示され、この理念実現のため、市町村が包括的な支援体制づくりに努める旨が規定されました。重層事業は、市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の抱える課題の解決に資する包括的な支援体制の整備を行うために令和2年の改正社会福祉法により創設された事業です。開始されてから4年が経過しようとしています。重層事業の実施状況と、本会が実施している後方支援について紹介いたします。

地域共生社会の実現に向けた取組 （包括的な支援体制の整備、重層的支援体制整備事業）



域社会の脆弱化等、社会構造の変化の中で市町村社協では、高齢者や障害者、児童、生活困窮者等、各々の分野において、これまでの福祉制度の充実とともに、様々な生活課題を抱える方への相談支援を行ってきました。その一方で、各分野の既存の制度では対象にならない制度の狭間の問題や、複雑・複合化した生活課題を抱える方への分野横断による包括的な支援体制の構築が課題とされてきました。重層事業は、①相談支援（属性を問わない相談対応、多機関協働、アウトリーチ等継続的支援の実施）、②参加支援（社会とのつながりや参加機会の構築）、③地域づくりに向けた支援（既存の地域づくりに関する事業を活かしながら、世代や属性を問わない交流・参加、学びの機会のコーディネート）を一体的に実施するものです。

重層事業の実施状況

厚生労働省の調査（令和6年10月時点）によると、令和7年度に全国では、重層事業を473か所の自治体で実施予定とされており、事業が開始された令和3年度と比べて約10倍となつています。移行準備事業は、189か所の自治体で実施予定となっており、重層事業に取り組む自治体が広がっています。

岡山県内の状況（令和6年度時点）

重層的支援体制整備事業	4自治体	R4～ 岡山市・美作市
		R6～ 総社市・西粟倉村
重層的支援体制整備事業への移行準備事業	6自治体	R4～ 倉敷市・笠岡市
		R5～ 矢掛町・美咲町
		R6～ 津山市・吉備中央町

後方支援の取組について

岡山県においては、令和6年度時点において、重層事業が4、移行準備事業が6の自治体で実施されています。また、本会実施の調査によると、「現時点で具体的な検討は行っていないが、何らかの取組が必要と考えている」という自治体は10か所となっています。



①重層事業研修会

包括的な支援体制の構築に向け、重層事業活用の方や求められる姿勢、基盤となる考え方を市町村行政と市町村社協等が同じ場で共有することで今後の体制づくりにつなげることを目的に研修会を開催しました。基調講義では、東京都立大学人文社会学部の室田信一准教授から「岐路に立たされた地域福祉実践」のテーマでお話いただきました。地域共生社会や重層事業を進めるにあたっては、自分たちの地域をどうしていきたいのか、何を大事にしたいのかをまずは議論すること、対話を重ねながら作り上げていくものという発想が必要であること、重層事業は、全く新しいものを作るのではなく、これまで取り組んできた蓄積をどのように活かしていくかという視

点が大事であること等について説明いただきました。

参加者からは、「何から始めたらよいのか分からなかったが、現状や課題を関係者と共有し、自分たちの地域をどのように変えていきたいのかを対話するところからだと感じた」「地域づくりは時間がかかるが、時間を有効に使うために中長期的な計画や戦略が必要であることを学んだ」との感想をいただきました。

実践報告①では、令和4年度から重層事業を実施している美作市から取組の内容や特徴、社協との協働、事業の進め方や事業を実施してみたいと考えてきたもの等について紹介をいただきました。

実践報告②では、鳥取県の八頭町社協から、重層事業を活用した事業展開というテーマで、今まで社協が取り組んできた既存の事業を重層事業で更なる機能強化を目指す視点について説明いただきました。

②市町村ネットワーク会議

重層事業（移行準備事業を含む）を既に実施している市町村や、これから実施を考えている市町村の行政と社協の職員を対象にして、ネットワーク会議を開催しました。会議では、我がまちで進めていく体制整備のヒントや課題解決に向けた糸口をみつけてもらうため、東広島市や松江市からの実践報告や質疑応答、他の市町村との情報

交換を行いました。その後につながる自治体間のつながりを作る機会にもなりました。

③アドバイザー派遣事業

各市町村において行われる体制構築に向けた協議場面や研修会等において、重層事業に関する専門的な知識の提供や相談対応等を行うアドバイザーを派遣し、市町村独自の事業展開となるよう支援を行っています。令和6年度は、6か所の自治体へ派遣を実施しました。

今後に向けて

重層事業への移行準備事業は、令和7年度末をもって終了予定とされています。また、国においては、地域共生社会の在り方検討会議において、重層事業の施行状況をもとに今後の方向性について議論されているところです。

本会では、こうした動向を注視するとともに、重層事業が施行されて数年が経ち、自治体ごとにと組の進捗状況が異なってきたことを踏まえながら、市町村における包括的な支援体制の構築に向けて引き続き支援を行っていきます。

◆お問い合わせ先

地域福祉部 地域支援班

☎ 086-226-2835

 **名鉄観光サービス株式会社**

観光庁長官登録旅行業第55号
(社) 日本旅行業協会正会員ボンド保証会員
岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル9階

TEL:086-225-2771 Fax:086-225-7494 担当:中西・深井・三鬼

☆国内・海外を問わず、安全で快適な旅行をしたい!

☆日帰りで豪華な食事がしたいんだけど、どこが良かな?

☆予算がないんだけど1泊2日でどこか行きたいな~!

☆個人で出張や家族旅行で切符やホテルの手配が必要なのですが...

旅行の事ならなんでもご相談ください。様々なご相談、見積、手配もいたします。



福祉教育実践「対話型アンケート」を実施
 * 矯正展・広報展での取組

(1) 岡山刑務所の矯正展

令和6年10月12日(土)、13日(日)に岡山刑務所において開催された第37回岡山地区矯正展に岡山県地域生活定着支援センターは、初めて出展し、福祉教育実践として「対話型アンケート」を実施しました。

ブースに來られた方に、本センターの仕事、触法障害者、高齢者へのサポートについて説明した上で、「罪を犯した人には、どんな背景があると思うか?」「やり直すためには、どんなサポートが必要と思うか?」などの質問に答えていただきました。

用紙を渡された人は、「難しいな」と言いながらも、一生懸命取り組んでいた。2日で600名の方が回答してくれました。用意したアンケートは全て配布。家族や友人と一緒に悩みながら、答えてくれた方も多く、良い福祉の学びの場になったと感じました。また出展にあたっては「ふあみりお」さん、「社会福祉法人ももどの学園」さん、「セルフおかやま」さんにご協力いただきました。



(2) 大学生とコラボ岡山少年院の広報展

令和6年11月16日(土)には、岡山少年院の広報展に出展しました。今回は、美作大学で「子ども×地域福祉」をテーマに研究している社会福祉学科の松尾彰先生のゼミと連携し、参加に向け、事前学習でレクチャーをさせていただき、関心を持った学生3名が参加してくれました。

学生の皆さんには、「対話型アンケート」の聞き取りを担ってもらい、問いについて、訪れる人たちと真剣に話してもらいました。院内や鑑別所の見学もでき、学生にとっても充実した日になったようです。



(3) 岡山県保健福祉学会へ

こうした矯正展等への参加のきっかけは、昨年度開催した「まち



の生きづらさを語り合う地域と福祉のコミュニティ・フォーラム」です(本機関紙2024春号参照)。この取組を通じて、私たち福祉の専門職が仕事を通じて出会う方の抱える生きづらさをもっと発信し、市民の方と対話をする必要があると考え、出展に至りました。

実際に出展する上で、市民の方と直接出会う機会なので、福祉教育実践を検討し、考えたのが今回の「対話型アンケート」です。

この取組は、「市民とまちの生きづらさについて学び合う福祉教育実践について」映画鑑賞、イベントでの対話型アンケートを通じての考察」という題で、今年度の岡山県保健福祉学会で報告し、審査委員奨励賞を受賞しました。

これからも現場の実践を社会に開いていく福祉教育実践を続けていきたいと考えています。

* 矯正展・広報展・・・「社会を明るくする運動」の一環として、再犯防止に向けた矯正施設の取組等の紹介や、全国の刑務所で受刑者が、改善更生や社会復帰を目指して製作した製品の展示販売を通じて、矯正施設の現状について知ってもらうこと目的として実施されています。岡山刑務所では、今回で37回目、毎年2日間で約5千人が訪れるという大きなイベントです。

おかやま矯正施設 見学ツアー

地域生活定着支援センターでは、司法と福祉の連携を担う機関として、福祉職の皆さんに、罪を犯した高齢者、障害者の現状や矯正施設について知ってもらうことを目的に、平成26年度から、矯正施設見学会を開催しています。令和5年度より規模を拡大し「矯正施設見学ツアー」として、岡山刑務所を2日程、岡山少年院を2日程、合計4日程で開催しています。

参加対象は、福祉専門職に限定していますが、高齢者施設、障害福祉施設、児童養護施設、社協など色々な分野から参加があります。毎年募集開始から2週間で、定員の倍以上の申込がある人気の高い企画です。



ツアーでは、各矯正施設の職員さんからの説明、そこで働く福祉職である「福祉専門官」の方の話を聞いて施設内を見学しました。実際にどういう所で生活しているのか、そこで社会に復帰するためどんなサポートを受けられるのか、ふだん知ることのない話に質問が絶えず、皆さん真剣に学んでおられました。

また、本センターとしても、ツアーでの交流により、支援している方の帰住先が決まることもあり、大変貴重な機会となっています。来年度も実施予定ですので、関心のある方はぜひご参加ください。



◆お問い合わせ先

福祉支援部 生活支援班
岡山県地域生活定着支援センター

☎ 086-226-2840

岡山県・笠岡市 総合防災訓練参加報告

令和6年11月16日に笠岡総合スポーツ公園で開催された総合防災訓練に参加し、社協災害ボランティアセンター活動の写真パネル展示や、避難時に活用できる車いすの移動補助具「J-NRICKER」の体験を行いました。

また、避難所開設・運営訓練では、本会が事務局をもつ岡山DWA（災害派遣福祉チーム）の訓練を実施し、医療・保健関係者と連携した運営や、笠岡市社協災害ボランティアセンターと合同で避難者ニーズの相談対応等を行いました。

毎年災害が頻発していますが、訓練を継続することで有事の際に迅速に動ける体制を構築したいと考えています。



社協災害ボランティアセンター
活動のパネル展示

◆お問い合わせ先

総務企画部

☎ 086-226-2822

● 各種広告看板・各種インクジェット出力・POP ●

美術工房

シシド

(公財) 全日本広告連盟加盟 岡山県屋外広告美術共同組合員

TEL086-271-4410 (代)

FAX086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田17-13



お車の共済のことなら!



西日本自動車共済協同組合

お見積り、事故のご相談、すべて無料!
お気軽にご連絡下さい。



岡山県支部

〒700-0927 岡山市北区西古松 237-126 松本ビル 3F

TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵 2-15-25

TEL: 092-441-5901

NJ730.2103.0213.999999

おかやま☆フクシ・カイゴ職場
「すまいる宣言」認証制度
スタート応援相談のご案内

おかやま☆フクシ・カイゴ職場
「すまいる宣言」とは、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組み、一定の基準を満たした事業所の宣言内容について、岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会が確認し、宣言事業所として登録する制度です。

令和6年9月時点、39法人
540事業所が認証され、働きやすい職場環境づくり等、特色ある取組を公表しています。本制度を通して、新たな人材の確保や職員の定着が期待できます。事業所のPRにぜひ、ご活用ください。
令和7年度前期申請受付：4月1日～4月30日

■「すまいる宣言」スタート応援相談は、毎月第3水曜日に実施
社会保険労務士が申請前に丁寧に新規申請手続き等相談に応じます。詳しくは、「すまいる宣言」ホームページをご確認ください。



毎月第2・第4木曜日開催！
「仕事の悩みなんでも相談」

岡山県福祉人材センターでは、「仕事の悩みなんでも相談」を実施しております。

福祉・介護職場で働かれている方や福祉分野で就職をご検討中の方を対象に、職場の人間関係やハラスメント等、働くうえでの不安や悩みについて、電話または対面にて、アドバイザー（社会保険労務士）が相談に応じます！お気軽にご相談ください。

「ご感想」
・話を聞いてもらえて良かった。
・気持ちの整理ができた。
・前向きに考えられた。
・仕事の悩みなんでも相談」

時間：13時～16時（事前予約可）
方法：電話・対面
※相談無料・秘密厳守

◆お問い合わせ先
岡山県福祉人材センター
岡山市北区南方2-13-1
きらめきプラザ1F
☎086-226-13507



楽しく、心地よく働ける介護職のお仕事を探します。 医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ



RISUCO
話そうよ 笑かそうよ

医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ
〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル8階
【厚生労働省許可番号】紹介（33-2-300017） 派遣（派33-300044）

0120-235-565

電話受付／平日9:00～18:00 <https://www.risuco.com>



NITORI

BUSINESS

ニトリの法人様向け事業
神戸 ショールーム

【TEL:078-843-0310】

ニトリ神戸御影店2F

兵庫県神戸市東灘区御影本町2丁目5-9

※上記の他、全国に21事業所がございます。

施設向け家具も「お、ねだん以上。」

お見積りいたします。お近くのショールームまでご連絡ください。

オフィス



共用空間



居室空間



お見積り無料

施設全体のコーディネート
ご提案いたします。

法人事業ホームページに
納品事例がございます。

ニトリ ビジネス



 歳末たすけあいへのご協力ありがとうございました

温かいお気持ちのこもった皆様の募金が、慰問や集い、研修等の活動に役立てられます。



なお、払込取扱票は各プロジェクト参加団体又は岡山県共同募金会（TEL: 086-223-0065 / MAIL: info@akaihane-okayama.or.jp）に用意しておりますので、お問い合わせください。皆様の温かいご支援、ご協力をお願いします。

岡山いのちの電話協会
TEL 086-245-4344

被害者サポートセンターおかやま
TEL 086-223-5564

チャイルドラインおかやま
TEL 086-956-3700

子どもシェルターモモ
TEL 086-206-2423

ハーモニーネット未来
TEL 0865-63-4970

子どもソーシャルワークセンターつばさ
TEL 080-2903-6612

岡山市子どもセンター
TEL 086-242-1810

CAPプロジェクトおかやま
TEL 080-6339-9740

はばたけ未来の私
TEL 090-7718-7434

vol. 66 「ふくし」の 仕事人たち

合同会社フクラス
真木佐江子ソーシャルワーカー事務所
社会福祉士 真木 佐江子さん

『福祉と暮らし』
～福祉専門職による、
ソーシャルワーク事業の展開～



ふくしの仕事に就いたきつかけを教えてください

福祉とは別分野の大学を出て仕事をしていましたが、転職を考えていた時に、高齢者施設の事務職の募集があったことをきっかけに福祉業界に入りました。そのまま施設の介護職員となりましたが、最低限のことだけをするのが福祉になっている、何らかの学びをしなればと思い、通信学習等で介護関係の資格を取得しながら働いていました。その後、病院でケアマネジャーとして働きながら、社会福祉士、精神保健福祉士の資格を取得。両親の介護を見越して地元で何かしようと思い現在の会社を立ち上げました。

現在の仕事内容について教えてください

合同会社フクラスは、「福祉と暮らしを繋げ、当たり前の暮らしを住み慣れた地域で続けていけること」を目指して事業を展開しています。母の介護予防のために始めた「ふくし食堂」は、反響が大きく規模も拡大しました。食堂の中でコミュニケーションが生まれ、食材の提供やワークショップ等が自然発生的にできています。また、スクールソーシャルワーカーの活動を通して、子どもの時からの支援が重要と感じました。不登校児

に届く支援がないと思い、ふくし学び支援「ふくなび」を始めました。その他、市町村から委託を受け、ソーシャルワーカーの派遣事業等にも取り組んでいます。

今後について

ソーシャルワーカーの可能性は無限大だと感じています。ソーシャルワークは形がないものですが、その分、仕組みづくりも変幻自在にできます。定義は難しいですが、「あなたの幸せ（＝権利）をあなたと一緒に考える人」と子ども達には伝えていきます。一人の話をじっくり聴くこと、本人の声を聴いていくソーシャルワーク職人を目指しています。

今後のテーマは「子ども」。現在実施中の子ども食堂を充実させた地域共生食堂の実施も検討しています。色々なことに介入しなくてもお互いの力で助け合えるような地域にしていきたいと思っています。また、中・高校生の抱えている「しんどい」部分を救えるような行き場をつくりたいと考えています。

【お問い合わせ先】
合同会社 フクラス
真木佐江子ソーシャルワーカー事務所
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1
086813510530



機関紙「岡山県社会福祉」への
ご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階

岡山県社会福祉協議会 広報班

■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は
商品の発送をもってかえさせて
いただきます。

